

**BUND CAFE** 札幌市中央区南1条東2丁目 和興ビル2階  
TEL011-21-9577 oteshio.com

PM 1:00~7:00 日月光栄店  
中央区南1条東2丁目 和興ビル2階  
TEL011-21-9577 oteshio.com

**オーガニック・自然食品専門店**  
らるる 札幌市中央区大通西23丁目  
TEL 614-2406 Fax 614-3836

**ピストロ エルスカ**  
LUNCH 11:30~13:30  
DINNER 16:00~22:00  
BAR 22:00~25:00

**つばら** 札幌市中央区南3条西5丁目  
TEL/FAX 011-312-0383

**アザンキ** 札幌市中央区南1条西5丁目  
TEL/FAX 011-802-9837

**WORLD BOOK CAFE** 札幌市中央区南1条西5丁目  
TEL/FAX 011-206-7376

**2019年度 キノ会員募集中!**  
会費 & 同伴の方も2名様まで1000円!

**有機栽培野菜のセレクトショップ**  
This is Singapore Style KOPITIAM

**人生フルーツ** 大好評上映中!

**器と雑貨 asa** 札幌市中央区大通西8丁目2-39

**シアターキノ ボランティアスタッフ募集!**

**広告募集中!** 1枠(縦24mm×横48mm) ¥5,000

**シアターキノ 27周年記念企画**  
7.4 THU 27周年記念日 どなたも1,000円のサービスデー!  
4.26 FRI AINU ひと 特別上映&ゲストトーク  
5.31 FRI ハーヴェイ・ミルク 特別上映&ゲストトーク

シアターキノ市民株主の一人でもある中野理恵さんは、映画に関わるようになって40年、配給会社バンドラを立ち上げ、シアターキノの前身である映像ギャラリー「イメージ・ガレリオ」のときに、初めて配給していただいた記念すべき作品が「ハーヴェイ・ミルク」でした。ゲイとして金米初の市執行役員になったハーヴェイのドキュメンタリーですが、彼が与えてくれた感動は、今でも私たちに明日への希望として語り継がれています。今回は中野さんにこの映画のことから始まり、40年以上に渡る映画や出版のお仕事を振り返っていただき、映画と文化の大切さを一語に語りあげようと思います。

さらに7月下旬ごろ 韓国から監督招聘を企画中!

**FRIDAY** フライデーシネマも盛りだくさん!

Vol.59 5/3 いつも夜後に飯の巻  
Vol.62 6/7 ハッピーアイランド  
Vol.60 5/10 選挙に出たい  
Vol.63 6/14 まぼろしの市街戦  
Vol.61 5/17 ひかりの歌  
Vol.64 6/28 サッドヒルを振り返らせ

**名作揃い。**  
北海道の、転編・収録・通観  
**ジョウキヤ**  
「もし私たちが国民が真実を知ること許されなければ、民主主義は存続しない。私にとってこの映画はそのようなメッセージを伝えるための作品だ。また、真実を知るという自由や、政府や権力に影響を受けたい報道をどのように手に入れてゆくかというメッセージも込められている。そういう自由がなければ、民主主義は希望は持てないのだから」劇中で描かれたジャーナリストたちは、今もワシントン・D・Cで現役記者として活躍しており、脚本の段階から協力してくれており、撮影中は現場に立ち会ってアドバイスをした。記者の一人は「この作品は本場のジャーナリズムについて、新聞が本来の機能を果たさなくなったときに社会は何を失うのかということについて、観た人に強く語りかけてくる。事実を伝えることはとても大切な。このうち、メディアの報道に対する信頼がこれまでになく低い。僕のようにこの業界で30~35年やってきた人間にとっては、すごく残念な状況だ。」そしてロブ・ライナー監督はこう語ってくつ。「民主主義はみんなに平等に与えられるものだ。宗教や人種、性別、性的指向を理由に、あらゆる人々を締め出すとうとする。それは民主主義ではない。すべての国民が権利を与えられて初めて成立するものなんだ」

4月27日(土)公開  
**記者たち 衝撃と畏怖の真実**  
真実は誰のためにあるのか?

アメリカ政府の巨大な嘘に立ち向かい、不屈の精神で真実を伝え続けた新聞記者たちの知られざる実話の映画化!

「イラクのサダム・フセインは大量破壊兵器を保有している」、コレが2003年、イラク戦争の間報理由のひとつだった。しかしに大量破壊兵器は見つからず戦争の大義は失われ、情報の捏造だと明らかになった。しかも当時、大手メディアは軒並みジョージ・W・ブッシュ政権下と迎合し、権力の暴走を押し止める機能を果たせなかった。ただたった一つの新聞社を除いては……

イラク戦争の軍事作戦名「衝撃と畏怖」を題名に掲げた本作は、世に真実を伝えることに並ならぬ執念を燃やした記者たちの知られざる実話の映画化である。本作に光を当てる中堅新聞社ナット・リッターの取材チームが置かれた立場は、まさに八方塞がり。傘下の新聞社からは記事の掲載を拒絶され、オフィスには匿名の脅迫メールが届き、身内からは裏切り者呼ばわりされる。そんな孤立無援の状況のもと、4人の記者は大手メディアが気が留めないような未開の政府職員も地道な取材を実施。確かな証拠に裏打ちされた真実を探り当てていった彼らの不屈のジャーナリスト魂を力強いタッチで描き出す。

監督は「スタン・パイ・ミー」「恋人たちの予感」など軽妙なラブストーリーなどを手がけてきたロブ・ライナー。本作ではイラク戦争とメディアを題材にした社会派の作品を手がけたと聞くと意外に思われるがプロデューサーは「この映画のアイデアはロブとその妻であり製作者でもあるミシェル・ライナーからのものだった」と証言。「アメリカがイラクに侵攻したことやこの戦争のきっかけについて考えるといつもモヤモヤした気分になった。それまでの人生において、間違えた情報や嘘がもたらした戦争が始まるなんて思ってもいなかったら。そして、ある青年がイラクに派遣され、最初の1週間だけ負傷したドキュメンタリーを観た。それを観たときに、イラク戦争に関する真実を作品にまとめられたらと思ったんだ」と監督。



「もし私たちが国民が真実を知ること許されなければ、民主主義は存続しない。私にとってこの映画はそのようなメッセージを伝えるための作品だ。また、真実を知るという自由や、政府や権力に影響を受けたい報道をどのように手に入れてゆくかというメッセージも込められている。そういう自由がなければ、民主主義は希望は持てないのだから」劇中で描かれたジャーナリストたちは、今もワシントン・D・Cで現役記者として活躍しており、脚本の段階から協力してくれており、撮影中は現場に立ち会ってアドバイスをした。記者の一人は「この作品は本場のジャーナリズムについて、新聞が本来の機能を果たさなくなったときに社会は何を失うのかということについて、観た人に強く語りかけてくる。事実を伝えることはとても大切な。このうち、メディアの報道に対する信頼がこれまでになく低い。僕のようにこの業界で30~35年やってきた人間にとっては、すごく残念な状況だ。」そしてロブ・ライナー監督はこう語ってくつ。「民主主義はみんなに平等に与えられるものだ。宗教や人種、性別、性的指向を理由に、あらゆる人々を締め出すとうとする。それは民主主義ではない。すべての国民が権利を与えられて初めて成立するものなんだ」

(プレス資料より一部紹介)

**MOVIE LINEUP 118**  
2019.5-7



今号のごあいさつ

北海道もまもなく桜の季節、気持ちいいですね。  
お客様さまもお問い合わせたくさんいただきましたアカデミー賞作品受賞の「グリーンブック」は4月27日~GW公開です。ニュービクター。真なる世界に住む二人の関係を織み合わせることでただそれだけで、いっしょにフライドチンを食べたりビザに挑戦したり、最高の音楽に素直に拍手喝采。妻への手紙なんてはじめてで不器用な二人にロマンチックを手ほどこしたり、徐々に徐々に二人は最高の相棒になってゆく。<すっと笑いながら心温まる感動がやってきて「やっばり映画ってこうじゃなくちゃ」と素敵な笑顔をお届けします。そして監督賞・撮影賞・外国映画賞に輝いた「ROMA ローマ」がついにキノのスクリーンにお目見え!5月18日~2週間の限定上映です。当初はスクリーンで見られない作品と思っていたので本当に嬉しいです。もともと65ミリフィルムで撮影されたシネマスコプの深みのあるモノクロームの映像、激動の時代を背景に監督の幼少期の思い出が綴られています。ベルエポックのバリ、おとなしく我慢するのはなく自分らしく生きることを選んだ女性。実在の小説家シドニー・ガブリエル・コレットの半生を描いた「コレット」。そしてこの方とつながっています。アメリカで最も尊敬される女性最高判事のルース・ベイダー・キングバグ。とてもチャタリングで最強の85歳。「リビング未来への大遊園地」とドキュメンタリー「IRBG」で上映。永遠の名作「ハーヴェイ・ミルク」の再会も。実在の人物の人生から、私たちは様々な出会いと感動、そして大いなる勇気を付けてもらえそうです。

交配人 中島ひろみ

2019年度 KINO 会員募集! 締切2019年5月31日  
ピンチー・スタンダード・シニア・学生会員 ご利用期間2019年4月1日~2020年3月31日

日	上映	上映時間	上映料金	上映内容
月	シスター・キョ	19:00	1,000円	シスター・キョ
火	シスター・キョ	19:00	1,000円	シスター・キョ
水	シスター・キョ	19:00	1,000円	シスター・キョ
木	シスター・キョ	19:00	1,000円	シスター・キョ
金	シスター・キョ	19:00	1,000円	シスター・キョ
土	シスター・キョ	19:00	1,000円	シスター・キョ
日	シスター・キョ	19:00	1,000円	シスター・キョ

**HINO** 札幌市中央区狸小路6丁目南3条グランドビル2F  
TEL 011 231 9355  
www.theaterkino.net / webmaster@theaterkino.net